



# 根堀台だより

平成29年8月25日

第 45 号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

## 少年会の振り返り これからの課題として



夏休みの生活を振り返る



8月24日(木)、「休み明け集会」終了後に「少年会」で各集落毎の活動報告を行いました。

活動内容はバス停の掃除(南福田・明法・小菅野)、町内のゴミ拾いやクリーンアップ(新上条・大町・山王町・森子・屋敷・中畑・館町・東町・小友町・神町・天神町・西小路・久保田・蟹沢・五十土・曲沢・米山)、会館掃除(後小路・平石・堰口・ゆりが丘・奉行免・新屋敷・土倉・大水口・東中沢)、廃品回収(寺田・黒沢)、夏祭り手伝い(山本)、駅掃除(吉沢)、会館の草むしり(飯沢)などです。また、堰口では勉強会も行っています。

由利地域の集落数(少年会数)は47ですが、現在少年会として活動しているのは34集落です。つまり13集落は中学生がいないこととなります。しかも、その34集落中、中学生が1人しかいない少年会は9集落もあり、一人しかいない少年会では親子で活動するなど色々工夫して取り組んでいます。しかし、これらの集落の中には来年度になれば一旦無くなる少年会もあり、地域から子どもの姿が消えることほど寂しいことはありません。地域にとって大変残念なことだと思えます。

本来、少年会は「各町内を中心とした周辺住民とのかかわり」や「町内を中心とした地区単位での協力関係」を学ぶ場です。長期休業中に「子どもを家庭や地域に帰す」ことで、地域の方たちと学校で学ぶことのできない様々な体験をしたり、地域の歴史や文化に触れたり、異学年の子どもたちとの交流を行うなど、大変有意義な活動の場として機能してきました。また、集落は子どもたちにとって最も身近な「ふるさと」であり、「伝統芸能」や「地域の祭典」などを脈々と受け継いでいく地域の「後継者」の育成の場でもあり、大きな教育力をもっていました。

そんな地域での少年会活動が、少子化の進行によって「絶滅の危機」に立たされていることに改めて驚かざるを得ません。今後子どもの数の増加が期待されない現状にあることを鑑み、今後地域の方々と連携を図りながら、少年会の統合や小学校の子ども会との連携などについても具体的に検討していかなければならないと思えます。

# 休み明けテスト この夏休みの成果を問う



8月24・25日、「休み明けテスト」が行われました。24日の「生徒発表」では、フロアーの生徒から「計画通りに勉強できなかった」とか、「ワークは期日ギリギリだった」など少し心配な言葉が聞かれましたが、果たして結果はどうだったのでしょうか？

家庭での学習計画は「自分のための勉強予定」を立案することです。大切なのはまず「目標を決めること」です。例えば目標は「この教科のこの分野を克服する」という漠然としたものではなく、「今日は3教科で2時間」とか「問題集3ページ」など、具体的に目に見える「ノルマ」を決めることです。目に見えるものは「チェック」できます。そして「ノルマを果たさないうちは〇〇しない」という強い気持ちをもつことです。特に、これから受験勉強に本格的に取り組む3年生にとって、1日の学習量を決めることは必須のものといえます。自分で目標を立てることは、宿題や課題をこなすよりも大変です。目標設定のヒントになるのは、過去の定期テストや模擬試験の結果です。

期末テストもやってきます。勉強はまず「量と時間」です。「質」はきちんと計画的に取り組めるようになった次の段階です。具体的な目標設定を意識した学習を心がけましょう。

## 3年生のこれからに学ぶ

3年生の「生徒発表」を紹介します。部活動がなくなり、自由に使える時間ができた時にどうしていくべきか、大変参考になるものです。3年生のこれからに学びたいものです。

### 休みの反省とこれからの抱負

3年A組 ○○ ○○○

私は、この夏休みに2つのことをがんばりました。1つ目は勉強です。私の夏休みの目標は、自分の力になるような効率的な学習をし、苦手を克服することでした。今年は、今までの夏休みと違い、部活も引退し、自分で自由に使える時間が増えました。目標とする学習時間を確保するために、その空いた時間を学習に使い、1・2年生の頃よりたくさん学習できました。夏休み前に決めた計画通り宿題を進めて、苦手克服への時間を増やすことができました。そのため、計算などは1・2年生のところから復習でき、たくさん問題を解きました。今まであやふやだった問題にじっくり取り組み、ケアレスミスも減ったように思います。

2つ目は体力づくりです。部活を引退したので、体力が落ちないように心がけました。自主的なランニングの量は、今までで一番多かったように思います。10月には駅伝大会もあるので、3連覇目指してクラス全員でがんばりたいです。

夏休み明けも「中学校生活最後の行事」が続きます。全校のリーダーとして、1・2年生を引っ張り、細かいところまで自分たちで気が付いて動けるようにしていきます。そして、一つ一つの行事を盛り上げていきたいです。

また、受験が本当に迫ってくることを実感する時期になります。今まで以上に授業に集中して取り組みます。分からないところをそのままにせず、積極的に質問し、復習することを忘れず、自分の学習をよりよいものにしていきます。学習、生活、行事、進路、全ての面で実りある時間になるようにがんばります。